

下記「スター誕生」は、玄海」第9号(昭和35年2月発行)掲載されたものです。

筆者の高野義明さんは、昭和35年卒のOBですが、残念なことに昭和56年1月に逝去されています。スターについての記録が少ない中で、誕生にまつわる貴重な文献と思い、消滅しないよう採録しました。ここで述べられていることの映像は、帆友会関東支部ホームページの「帆友会関連リンク他」の項の「スター玄海二世写真集」に収録されていますので、あわせてご覧いただければ幸いです。

(S36年卒 浜田泰亮 H25年8月記)

## スター誕生 高野義明

事の起りは、「旧スターは廃艇同様であり、こゝらで新調し来るローマオリンピック大会に備えようではないか」といふ夢物語であった。

まず資金である。これには見積もりによると少なくとも五十万円は必要である。

五十万円集めるためにはまず先輩二百五十人であるが、有効数は百五十人として一人平均三千元としたが、ジャリ先には無理だといふので三段階に分け、五千元、三千元、二千元とし、主として年齢を基準として、又家庭状況により配分した。

先輩諸氏にはこの点につき、いろいろご不満があった事と思いますが、なにしろデータが少ないため、公平にならなかったことをお詫びいたします。

次に名簿を整理し出来るだけ多くの先輩に協力してもらおうと努めました。

以上の事を、外尾君が主にやってくれ後に私が引きつぎました。

引きついでみてなお困った事は、筆不精もいとこ、家にカネオクレがやつのところに、手紙はしよちゅう書かねばならぬ、初めは一つ書くにも一時間位かかる。これでは商売上ったりで、「手紙の書き方」なる本を借りてき、手紙の書き方から勉強しなおしである。

これも段々と慣れてくると一時間に数十通も書けるようになる。馴れると恐ろしいものである。遠方の方々には手紙で連絡したが、福岡付近は専ら足でかせく事をモットーとし、これは効果的であった。

これも始めは自分の気の向いた時にでかけていたが、効果が上がらないので、まず先輩の給料日又はボーナス日を調べ、敵の作戦計画の経たぬ内に狙撃することとした。このスナイパー作戦は最も効果的であった。これで福岡付近では資金は着々と集まったが、遠方の集まりが悪いといふので、七帝戦が、五月西の宮であるこの機会に二年部員の遠征隊を東京付近は派遣した。これも又効果があり、九月には三十万円の資金が集まった。

予定では九月に出来上がることになっているので、問合わせたが未だ出来上がっていない様子、それで散々急かせて、やっと十二月半ばに、完成したから見に来いといふので、堺様、浜田君と僕とで小豆島に出かけて行った。造船所についてみるとなんとまだ完成どころかペイントも塗ってなく、キールもつけてない状態で、急がねば運搬船の来る日まで間に合わないのその日から突貫工事に入る。

ペインティング、バラスト付け、艀装品の取り付け、運搬船の来る日の夕方にやっと完成して水に降ろす様になり潮が悪くまく行かず、やっと進水させて港の運搬船に連絡したが、一寸前に出

航したばかりというのでチャッカーをかりスターを引き沖で運搬船をつかまえる始末。堺様に運搬船の方をまかせ、受け入れ体制を整えるべく急いで博多に帰った。

運搬費の方は、運搬船が石炭船の帰り船の為安く一万円ですんだが、長浜から名島までは浅く潮も悪かった為、陸送することにした。

十二月の終りセールが出来上りよいよ試走することになった。困ったことにはレールもなくどうして進水させるかである。いろいろ議論したが結局、電信柱にいかだを組み、これにスターを乗せ深いところに出し、いかだをほどくこととした。当日は曇り北西の風であまり強くはなかったが、スターを乗せたいかだを押し出したところ、風を横から受けスターはグラッと三十度ぐらい傾いてしまった。

全員水中に入りふるえながらスターを押しやっとの事で進水させる。始めて乗るときの気持ちはおつなものである。うれしいやら、こわいやら、陸も海も同じようなものである。

試走も無事に終り、三月のシーズンインまで艇庫に入れ三月に入り正式に報道関係者を呼び盛大に進水式を行った。

この夢物語は先輩諸氏の絶大なる御協力により実現致しましたことを感謝致します。一つ残念なことはローマオリンピック候補選手に九大から選ばれなかった事であります。今度こそ東京オリンピック大会には九大からぜひ選手を送ろうではありませんか。

### スター利用状況

現在スターは、シーズン中は西戸崎の米軍キャンプのハーバーに繋留しており、現役部員は試験休みなど又先輩の乗艇されない日を利用して玄界灘に遠出を行い、大いに潮をかぶり玄海の偉大さに接しております。

今シーズン中に玄海島へは三回程と唐津へは二泊で四年生の送別クルージングに児島先輩のマルコと同道このペアの中の良さを感心した次第であります。

このように現在は現役部員の方がよけいに利用しているといった状態、それも現役にはレースの練習がありますので、スターは西戸崎のハーバーで居眠りしている日が多いといった有様であります。

先輩諸兄弟には日曜祭日にどうぞ乗艇され、このスターを大いに可愛がって下さらん事を現役部員一同望んでおります。

練習の合間などに西戸崎に行きます際に、セールのついていない、ブイにつながれた心細そうにしているスターをみるのは、何となく寂しいものであります。

左に乗艇要領を再掲致します。おいでをお待ちしております。

### スター乗艇要領

一、スター乗艇者は原則として帆友会員とし、会員二名以上同上の事。一名の場合には現役部員を同乗させます。

一、スター乗艇の申し込みは艇を確保するために、乗艇の一週間前迄に左記まで連絡下さい。

(・・・以下略 )